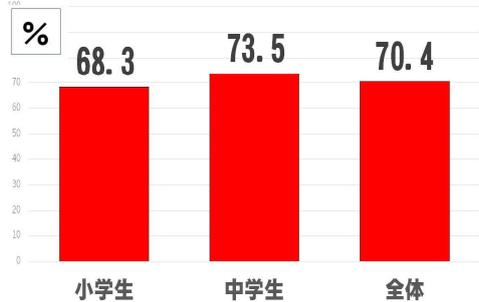




暑い暑い夏休みも残り1週間ほどになりました。いい夏休みでしたか。宿題は終わりましたか。長く忙しい2学期に備えて、心と身体の準備を少しずつしていきましょう。

7月の出席の様子



小学生は水泳大会、中学生は総体などの関係で6月に比べて出席率が下がりました。ただ、岩松教室は86.2%と突出して高く、2番目に高かったのは鶴島教室で72.6%でした。すべて出席した人は65名(約35%)、1回も出席していない人は8名でした。

心に残った1冊

明倫教室の山田佐代子先生の心に残った1冊は「アンパンマン」です。現在、NHKの朝ドラ「あんぱん」では、著者のやなせたかしさんと妻のぶさんがとりあげられていますね。

私が「アンパンマン」に出会ったのは、長女が誕生した頃です。ある日、絵本コーナーで、ふと手に取ったのがこの本でした。カラフルな絵とどこか優しさのある絵にひかれて、ページをめくったのを覚えていています。

それまで、私は「アンパンマン」正義の味方というくらいイメージしか持っていませんでした。でも、やなせたかしさんの絵本を読むうちに「本当のヒーローは強いだけじゃないんだ。」と考えるようになりました。

アンパンマンは時には迷い、時には弱くなることもある。それでも困っている人を助けようとする姿に、温かさや深い意味を感じます。

この絵本シリーズが長く愛され続けられているのは、やなせさんを支えた奥様、のぶさんの存在も大きいのだと思います。やなせさんの優しさや想いが作品にあふれているからこそ、世代を超えて多くの人に愛されているのでしょう。

私も育児中に何冊も読んできました。やがて、孫と一緒に読む日が来た時には、自然と笑顔になりました。この絵本は、読むたびに元気をもらえる大切な1冊です。ぜひ皆さんも、お家にある「アンパンマン」を久しぶりに手に取ってみてください。心がホッと温かくなりますよ。

やなせたかしさん



やなせたかし(柳瀬 嵩)さんは、生まれたのは東京ですが、父親の故郷の高知県で育ちました。戦争が終わって、のぶさんと結婚し、デパートの三越に入社します。三越の包装紙のロゴデザインの「mitsukoshi」はやなせさん作です。やがてマンガ家として独立しますが、「手のひらを太陽に」を作詞したり、雑誌「詩とメルヘン」の編集長を務めたりもします。「アンパンマン」は、1969年に雑誌に初登場し、1988年にテレビアニメ「それいけ!アンパンマン」が放映され、人気番組となり、やなせさんも全国的に有名になりました。1992年から高知で始まった「まんが甲子園」にも深く関わり、まんがを広めていくことに尽くしました。

四国ガス実験 (和霊)



○液体窒素は-196度で、それを25度の床に落とすと、ポッポーンのような音とともに広がっていくの、料理をすのこの上に水を落とすときと同じように思いました。液体窒素の中にティッシュ、バラ、ゴムボール、風船を入れたら、ティッシュは何も変化はななかったけど、水につけると力チカチカになることがわかった。バラは10秒ついただけで、パリパリにはなりました。驚いたし、ゴムボールは落としただけでガラスのように割れることに驚きました。(小6)



おもしろ実験 (吉田)



ふわふわ飛行機は、簡単に作れるのに、羽の角度や曲げ方などで動きが変わるところや壁を使った上昇気流を作れば、永久的に飛び続けるところがおもしろかったです。空気砲は段ボールの箱を叩くだけで、空気が飛んだり、穴の形を変えても輪っかになるところが不思議でした。どちらもとてもおもしろかったので、家で作って実験をしたり、仕組みを調べてみたいと思いました。(小6)



ハワイの文化 (鶴島)

フラをやったことがあったけど、ロコボーズのはあんまり私のクラスではやらないので初めてだったけど、上手にできてよかったです。(中1)



今回の体験学習がある前から、いつか死ぬまでにハワイに行ってみたいなと思っていました。でも、今回のハワイの文化を学ぶ体験学習を通して、今すぐ行きたい、なんなら住みたい、と思いました。本場のフラを見たいし、お話や音楽の中にあつた牧場やサラサラの海で泳ぎたいなと。夢でいっぱいです。宮本さん、山口さん、暑い中、ありがとうございました。(中3)

